

2026年3月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位: %)

大 阪 店	+7.7	柏 店	※2 △1.3
京 都 店	※1 +8.8	E C 店	+20.4
泉 北 店	+5.0	(株) 高 島 屋 各 店 計	+8.0
日 本 橋 店	+18.9	(株) 高 島 屋 各 店 既 存 店 計	※3 +9.4
横 浜 店	+7.3	岡 山 高 島 屋	△1.6
新 宿 店	+8.0	高 崎 高 島 屋	+8.2
玉 川 店	+13.3	国 内 百 貨 店 計	+7.8
大 宮 店	+2.9	国 内 百 貨 店 既 存 店 計	※3 +9.1

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

※2 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

※3 本年1月7日に営業を終了した「堺店」の前年実績を控除しています。

■ 概況

○前年比(※既存店対比)におきましては、店頭売上高+7.8%(※+9.1%)、免税売上高+6.9%、免税を除いた店頭売上高+7.9%(※+9.4%)となりました。

※上記の数値は、2025年度決算に伴う売上高修正を反映しております。(2月度はマイナス、3月度は同額プラスの売上高修正)

売上高修正を除く実質の前年比(既存店対比)は以下のとおりです。

2月度: 店頭売上高+2.1% 免税を除いた店頭売上高+4.8%

3月度: " +6.9% " +6.9%

○国内顧客は、春物衣料・雑貨に動きがみられたことや、食料品催事が堅調に推移したことで、前年実績を上回りました。

インバウンド顧客については、中国による「訪日自粛要請」の影響がみられた一方で、その他の国が伸長し、前年実績を上回りました。

○店舗別売上高は、大阪店、京都店、泉北店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、大宮店、EC店、高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類・既存店対比)は、紳士服、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、子供情報ホビー、リビング、食料品、食堂、サービスが前年実績を上回りました。

以 上